

第4回NBRPカイコ運営委員会議事録抜粋

期日：2009年11月26日午後13時半から16時
場所：三菱ビルコンファレンススクエアM+ミドル2会議室

委員長挨拶を行った後、下記議題を中心に議論を進めた。

NBRP 事業に関する情勢について

文部科学省ライフサイエンス課より

- 議題
- 1、NBRP 活動全般の状況について
 - 2、平成21年度の進捗状況の報告
九大、信大、生物研、東大
 - 3、課金計画について
 - 4、教育機関向け事業の充実について
教育機関等向け MTA の検討
 - 5、国際レベルでの貢献について
フランス保有のリソースの寄託
 - 6、凍結保存事業
 - 7、後継者育成について
 - 8、ユーザーからのニーズ収集と対策
 - 9、謝辞の記載と文献情報の収集体制
 - 10、系統情報の充実：サブ機関を含めて
 - 11、その他

以下会議資料

これまでの会議での検討事項で解決出来ていない点

◎NBRP カイコでは何をなすべきか？

1、ユーザーからのニーズ

- a) 人工飼料育では未だ飼育できない系統がある。人工飼料そのものの質の確保が課題
→九大の系統で人工飼料の推奨品種、系統を公表することで、サービスする。
農産工業では1回のオーダーに200キロ単位の大口が要求されるので、小回り口は京都工織に役務でお願いする形もある。役務体制はできているので情宣する。
- b) cDNA の完全長情報が欲しい
→5プライム側の配列のみ分かっている10000弱の EST 情報の内、約5800を完全にする事業を特定領域、アグリゲノムで進めている。ソレクサ使用。
ORF を明らかに出来ることが先ずはユーザーが求めているので、その対応は可能になると期待。細部は繰り返し配列がどの程度影響するかは不明。ゲノムからの予測遺伝子は17000あるので現在の EST (cDNA クローン) に加え、新しいライブラリー (cDNA) を作ることも必要であろう。
- c) ツール開発
→ジーンサーチ、ジーントラップ、RNAi 技術共に各種研究費で開発を試みているが、未だの段階。体液に注射する方法では100 μ g も必要で何が効いているか疑問視される。
GS,GT は10蛾区程度でホモ化を試みているが大変な作業である(東大)。

2、NBRP 全体の目的に対してどう対応するか？

2010年までに世界最高水準のリソース

- a) 内容は各リソースに任されている
カイコは量、質ともにナンバーワン
→上限の系統数をどうするか→ 成体で1000系統、他は凍結
余裕のあるうちに何を行うか (NBRP では予算使用に制限がある)

他省庁、団体との関係、カイコは小淵沢、上田社が対象。

→上田社の系統は蚕技研田中さんが管理することになった。大型品種については NBRP で紹介することも一案 (リンク)。NBRP の HP で遺伝子保有系統が小淵沢を含めて検索できると便利。

b) フィードバック (謝辞と文献情報の集積)

- 謝辞は文例など前川委員長が考え要請する
収集は金田さんに検索してもらおう。カイコ、Bomnbyx で検索する
遺伝研 (山崎先生) でも便利な入力方を作成しているので積極的に利用する

3、その他

○サブ機関の現況報告

東大：田無は元技官を雇用して桑畑 (50アール)、くぬぎ林(10アール)を管理。
信大：8アールのくぬぎ林はパートと梶浦で管理。

○系統の維持数をどのように決定するか？

野蚕：DNA 保存で行くことも選択肢。

○NBRP の認知

学術会議から NBRP を支援する方法はどうか。

○誰が行うのか？

常勤でのボランティアでは限度がある。来ている？

パート、テクニシャンは有効に働いてきている。

ポストクの活用が鍵である。→しかし、NBRP では課題が制限されている

第一回会議での検討事項で確認を要する項目

- 1、収集、保存しているリソースの帰属と帰属機関の規定を明確にする。
リソースは商業的に価値があるものも多い。提供、利用に関して、これまでの対応を検証し、対応について検討する。
- 2、運営委員の先生方は、種々の会議や、研究会、市民講座でカイコを紹介する場面を多く持つ機会があると思われるので、積極的に宣伝していただく。その活動はNBRPの一環として重要であるので、NBRPの名前を積極的にご使用いただきたい。また、そのような場合、中核機関までお知らせいただきたい。
- 3、教材としてのリソース提供の認知について明確にする。MTAも教材用を用意する。

出席者

委員名	所属
上田 均	岡山大学
梶浦 善太	信州大学繊維学部
国見 裕久	東京農工大学大学院連合農学研究科
小林 迪弘	名古屋大学大学院生命農学研究科
嶋田 透	東京大学大学院農学生命科学研究科
田中 秀穂	京都大学医学研究科
瀬筒 秀樹	(独)農業生物資源研究所
蛭木 理	東京農工大学農学部生物生産学科
伴野 豊	九州大学大学院農学研究院
前川 秀彰	琉球大学遺伝子実験センター
山崎 由紀子	国立遺伝学研究所
佐藤 清	NBRP 事務局
オブザーバー	
石井康彦	文部科学省ライフサイエンス課
本間善之	文部科学省ライフサイエンス課
熊澤周平	文部科学省ライフサイエンス課
中島 紫	NBRP 事務局